

第25回 理事会議事録

第25回理事会 議事録

- 1.開催日 2020年9月6日(日) 13:00~17:00
- 2.開催地/方法 WEB会議(Zoomを用いた会議)
- 3.理事 19名中15名が出席し、定足数を満たした。(出席者全員WEB参加)
(出席) 藤井範久 伊藤好信 木村佳司 平島俊次 前田(大里)真理子 楠見耕介
愛場庸雅 瀬川 出 茅野耕治 小林 力 宮川早穂 新帯 亮
島津 弘 山西哲郎 奥田健史
(欠席) 高橋利之 羽鳥和重 信原 靖 谷野文史
監事 尾上秀雄 齋藤和助(欠席)
記録 高村 卓
- 4.議長 定款第32条により、愛場副会長を指名した。

審議事項案

- 第1号議案 倫理規程改訂案(木村理事)
- 第2号議案 公認大会制度のWG設置について(平島理事)
- 第3号議案 競技委員会委員の追加について(平島理事)
- (取下)第4号議案 定期理事会開催頻度を年4回にすることを提案(平島理事)
定款に2から4回とあり、審議事項ではなく、開催についての合意事項とした。
Zoom等のオンラインによる理事会の決議について、法的問題がないか確認することとした。記録等をできる限りとるようにと希望が出された。
- 第5号議案 日本オリエンテーリング選手権実施基準改正(平島理事)
- 第6号議案 全日本大会委員会委員の追加、日本ランキング実施について(宮川理事)
- (取下)第7号議案 全日本スプリント大会について(瀬川理事)
審議事項ではなく報告事項のため、取り下げとなった。

審議 会長挨拶後、以下の審議に入った。

第1号議案 倫理規程改訂案

木村理事から、倫理規程改訂案を提案した。第4条に第4項を加える。

4. 役・職員、または役・職員が役員を務める団体がこの法人と取引する場合は、その内容について理事会の承認を必要とする。

以下、項目番号を順次繰り下げ、改訂する。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

付帯決議 利益相反に関して、全日本大会委員に以下の4社の代表が入るため、倫理規程に基づき、取引を行う事に関しての承認を行い、議事録に記載することを提案した。

取引承認：地図調査等で、200万円程度の発注が行われる可能性があることに対する承認。

対象者：ヤマカワオーエンタープライズ、NishiPRO、宮西山野精図、坂野山遊地図企画

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第2号議案 公認大会制度のWG設置について

平島理事から、昨年9月の公認大会のあり方検討WGの結論を受けて、これからの公認大会、競技者登録、会員支援金等をどのようにしていくかを検討、見直しをするため、WGの設置の提案をした。

メンバー 平島俊次、木村佳司、宮川早穂、瀬川 出、楠見耕介、小林 力、広江淳良、稲葉英雄、の8名。

予定 2020年12月 中間報告
2021年02月 規則改正を含め最終提案
2021年04月 新制度実施

(WGにおける検討事項の概要)

- ・公認大会のありかたWGの報告後、公認大会改革の方向性が発表された。ランキング大会については全日本委員会で検討されているが、公認大会も同時に改革を行う必要がある。
- ・より質の高い公認大会の開催を目指す
- ・公認大会の位置付けを明確にする
- ・改革にあたって制度そのものの見直しや競技者登録、会員支援金見直しなどを行うことになる。
- ・全日本大会は全日本委員会が所管、公認大会は競技委員会が所管、ランキング大会は全日本委員会が所管。
- ・今まで競技委員会が行っていた規則類の内、全日本大会やランキング大会に関する規則類の制定改廃は、全日本委員会が行う。
- ・全日本大会のエリート権を取得するための対象大会として、公認A、Bのほかに、各地で開催される大会をランキング大会としてJOAから依頼して対象とすることで、全日本大会エリート権を取得する道筋を広げる。これは全日本委員会で検討中である。

(意見)

- ・「公認大会は全ての人に開かれた大会」という理念のもとでは、若年層が安心して参加するための安全策や、参加人数に上限を設けることは是非かといった議論も必要である。
- ・競技者登録、会員支援金については特に意見が出なかった。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第3号議案 競技委員会委員の追加について

平島理事から、競技委員会委員として推薦を提案した。

委員 楠 健志(くすのき けんじ) 現在、筑波大学大学院在学。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第5号議案 日本オリエンテーリング選手権実施基準改正

平島理事から、理事メールを利用して、理事に配布、意見を求めたが特に異論がなく、仮承認として8月9日付けでWEBに公開した。あらためて理事会で承認を受けたいと提案した。

- ・全日本リレー大会の得点方法の改訂。
- ・地図図式の改訂、国際方式にあわせる。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第6号議案 全日本委員会

第1項 木村理事から、全日本委員会の委員として推薦を提案した。

委員 稲葉英雄(いなば ひでお) 現在、強化委員会委員長として活動中

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

第2項 木村理事から、日本ランキング実施について提案した。

予定 2020年09月 理事会に提案

2020年10月 日本ランキング実施

2020年12月 全日本E権規程の変更

付帯決議 日本ランキングの外注先としてNishiPROに委託する。

ランキング実施についての説明として

- ・ランキング発表は、JOAの頁で行うようにしたい

- ランキングは、速報値で行うが、公式結果に基づいて修正する。
- 全日本大会出場規則の変更を仮承認で進めたい。
- 日本オリエンテーリング選手権実施基準も関係してくる。
- 規則の管理者を全日本委員会としたい。
- 年齢別ランキングとは別になる。

以上、審議の結果、出席理事15名が賛成し承認した。

以上

報告事項

1. 全日本スプリント大会について、瀬川理事から報告した。
 - ・全日本スプリント大会 2020 は、東京都練馬区光が丘での開催を見送りとした。
 - ・2020 年度大会を、別テレーンでの開催を模索中。
 - ・光が丘地区は、2021 年度の開催を目指す。
 - ・試走情報の漏洩について報告があった。(他の大会でも GPS ウォッチ、スマホは要注意理事から情報提供の日程を示してほしい。選手への告知が必要との意見があった。

2. 全日本大会の今後のビジョンについて、宮川理事から報告した。
 - ・2021 年度大会を千葉県に打診中。
 - ・2022 年度大会を静岡県に打診中。
 - ・以後について、協力いただける会員を募集している。

3. 危機管理・コンプライアンス委員会について、伊藤理事から報告した。
 - ・役員が SNS 上で誹謗中傷発言を行うなどの不適切な行為を行ったという告発があった件について、8 月中旬に 2 度の委員会を開催し、JOA としての処分を決定した。
 - ・倫理規定改定案の検討を行った。

4. 競技者登録番号の一元化について、事務局から報告した。
 - ・理事メール、会員メール等に意見募集を行っている。

5. 競技規則改訂の進捗状況について、平島理事から報告した。
 - ・予定通り進めている。2021 年 2 月の理事会で承認を得、同年 4 月施行予定。

6. ガバナンスコード対応について、愛場理事から報告した。
 - ・倫理規程を 2021 年に改訂する。2020 年 12 月予定の理事会にて承認を得、2021 年 2 月施行の予定。対象者、違反行為の定義、通報窓口、倫理委員会の設置、処分規程等を明確にすることにより、ガバナンスコードに対応する。

7. 日本スポーツ協会のコーチ制度について、木村理事から報告した。
 - ・2019 年日本スポーツ協会の方針が変わった。
 - ・JOA から、日本スポーツ協会へカリキュラム案申請中。
 - ・2020 年 09 月日本スポーツ協会にて、確認・回答がでる予定。
 - ・上記の回答を受けて、JOA 最終案を作成する予定。

8. ワールドマスターズ関西進捗状況について、平島理事から報告した。
 - ・10 月 4 日、10 日、11 日にプレ大会を開催予定。
 - ・10 月 28 日の WMG 組織委員会にて、実施か延期かなどのコロナ対応が決まる見込み。
 - ・11 月に IOF シニアイベントアドバイザーが来日予定。(コロナの影響で未定)
 - ・収支予算が厳しい、プレ大会からの資材共有も活用する。
 - ・スタッフが不足している。
 - ・併設大会(WMG/WMOC 参加者の家族や国内の 35 歳以下参加者向け)がまだ決まっていない。

9. 次回理事会の予定について
2020 年 12 月を予定。事務局にて調整を行う。

以上

第25回理事会

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

議事録署名人
理事会議長

代表理事「副会長」 愛場庸雅

印

議事録署名人

監事 尾上秀雄

印